

2026年10月 環境学習・施設見学の取り組み

さまざまな立場の方と、環境の未来を一緒に学びました。



4 団体

59 名の皆さま

10/3～21 実施



10/3

土

参加者 19名

教職員等環境教育・学習推進リーダー養成研修

環境省主催 伏見環境保全センター

教職員や行政、企業、NPOなど19名が参加。「体験の機会のある場」認定施設として施設見学とプログラムデザイン演習を行い、RPFや太陽光パネルなどをテーマに環境教育の新しいアイデアを考えました。



10/7

水

参加者 12名

京都工業会 環境人材育成講座（第4回）

京都工業会主催 伏見・瑞穂の両環境保全センター

モノづくり企業の環境人材育成を目的とした全7回の講座の第4回。参加者12名が両センターを見学し、収集運搬から最終処分までの流れと削減の必要性を体感。アンケートでは92%が「満足」「やや満足」でした。



10/21

水 午前

参加者 20名

くるん京都（京都市主催ごみ減量エコバスツアー）

京都市主催 伏見環境保全センター

市民プロジェクト「くるん京都」の20名が来社。RPF製造や太陽光パネルリサイクルを中心に案内しました。質問が相次ぎ、予定時間を超えるほど熱心な見学となりました。



10/21

水 午後

参加者 7名

中国生態環境部 華南環境科学研究所

京都大学 高岡教授のご依頼 伏見環境保全センター

中国の研究所の研究者など7名が来社。太陽光パネルリサイクルと3号焼却炉を見学し、通訳を介しても質問が相次ぎ、産業廃棄物の管理制度や不法投棄の現状にまで話題が広がりました。



持続可能な未来と社会の実現に向け、行動できる人材の育成を目的として、小中学生から一般の方、排出事業者、同業者、行政関係者、各種団体まで幅広い方々を対象に、環境学習や施設見学の機会を積極的に提供しています。